

## 富士山の火山活動解説資料（平成 29 年 10 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### 活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 1）  
萩原監視カメラ（富士山山頂の東南東約 18km）による観測では、噴気は認められません。
- ・地震や微動の発生状況（図 2～3）  
火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。  
火山性微動や浅部の低周波地震は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図 4～5）  
GNSS<sup>1)</sup>連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 富士山 山頂部の状況  
（10月26日 萩原監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（[http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧することができます。

今回の火山活動解説資料（平成 29 年 11 月分）は平成 29 年 12 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、中部地方整備局、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、山梨県及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

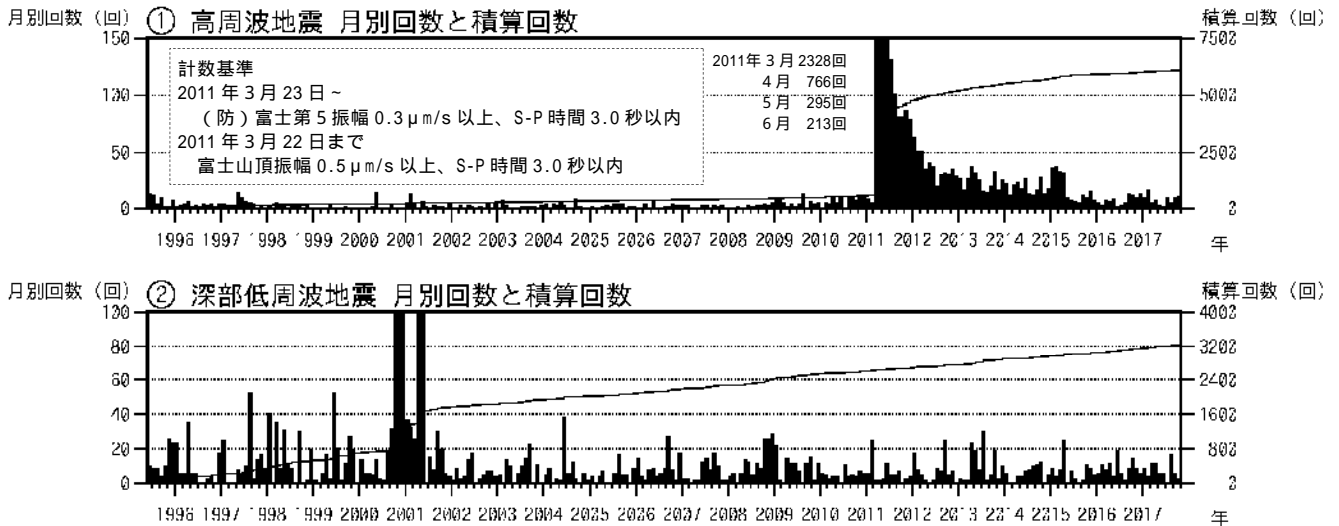


図2 富士山 月別地震回数(1995年6月1日～2017年10月31日)  
 ・2011年3月15日に静岡県東部(富士山の南部付近)で発生したM<sup>2)</sup>6.4の地震以降、地震活動が活発な状況となっていました。2016年以降低調に経過しています。  
 2) M(マグニチュード)は地震の規模を表します。

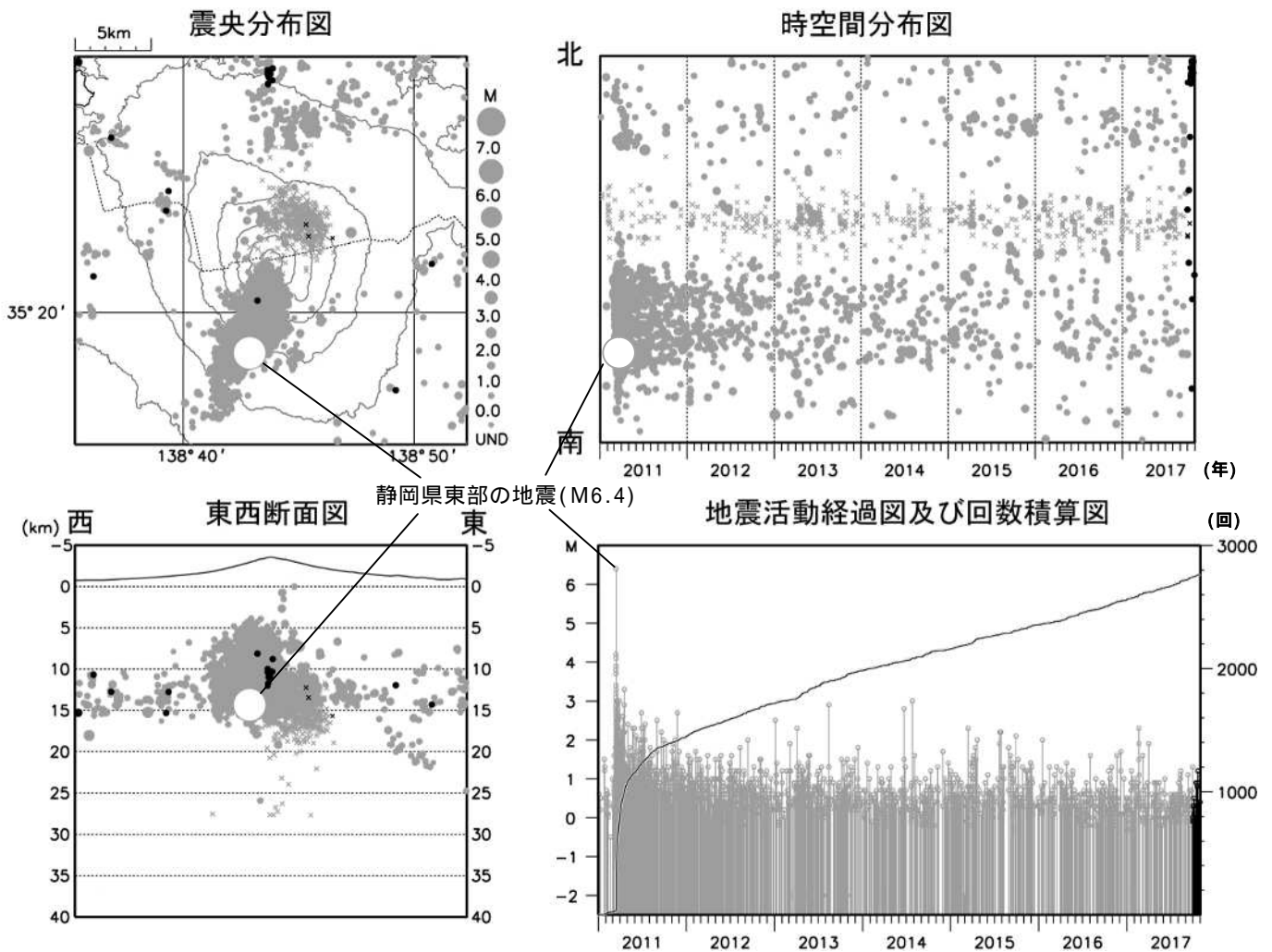


図3 富士山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2011年1月1日～2017年10月31日)  
 : 2011年1月1日～2017年9月30日 : 2017年10月1日～10月31日 ×: 深部低周波地震

- ・広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。
- ・図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震

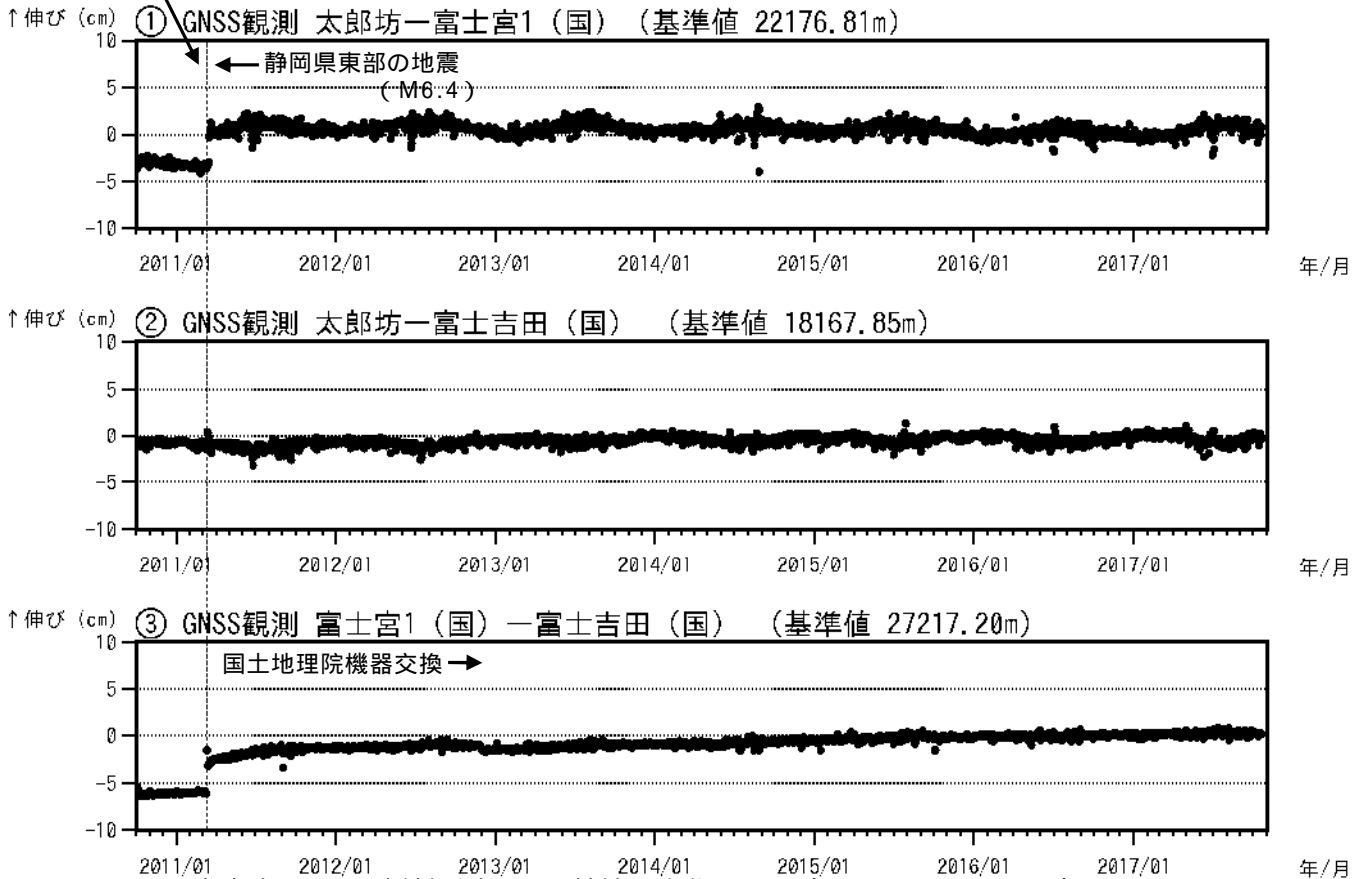
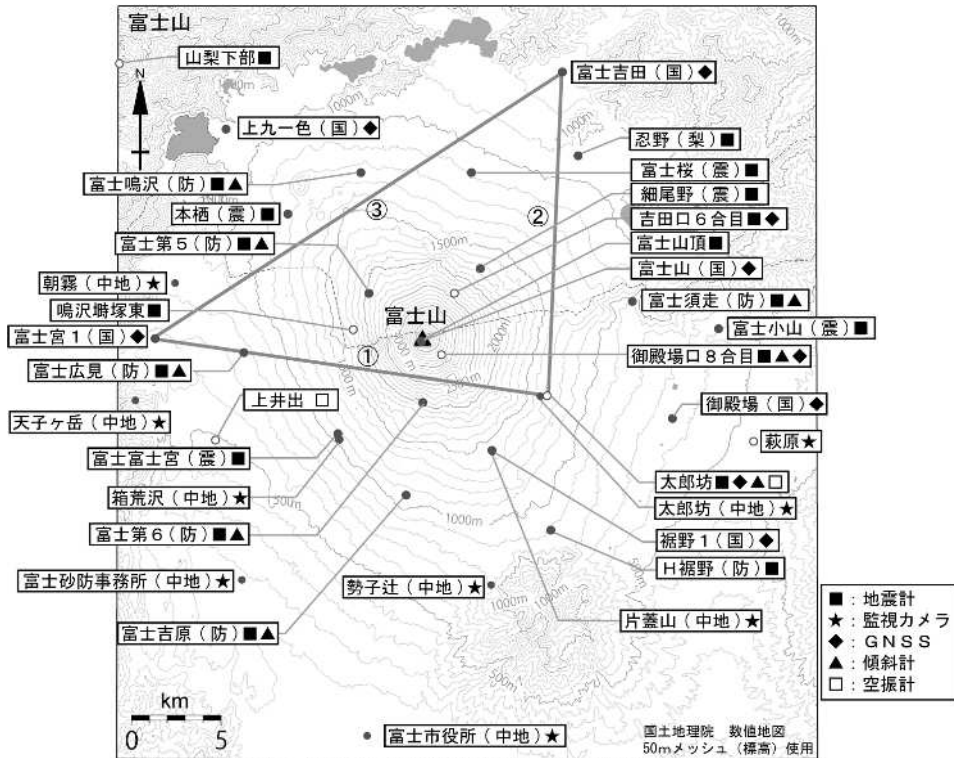


図 4 富士山 GNSS 連続観測による基線長変化（2010 年 10 月 1 日～2017 年 10 月 31 日）

（国）：国土地理院

- ・「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」及び 2011 年 3 月 15 日に発生した静岡県東部の地震（M 6.4）の影響により、ステップ状の変化がみられます。
- ・ ~ は図 5 の GNSS 基線 ~ に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示します。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国)：国土地理院、(防)：防災科学技術研究所、(震)：東京大学地震研究所、  
 (中地)：中部地方整備局、(梨)：山梨県

図 5 富士山 観測点配置図

- ・ GNSS 基線 ~ は図 4 の ~ に対応しています。